

## 第1学年1組 国語科学習指導案

1 教材名 「空中ブランコ乗りのキキ」

2 指導観

- 文学作品を学習する意義は、話の筋と作者や登場人物の思いを正確に読み取ることだけでなく、様々な世界観に触れることで自分の考えを豊かにできることにある。加えて、そこから必要な情報を抽出して意見を述べたり、自分のものの見方に役立てたりする力をつけさせることが「読解力」につながると考える。

本教材は1年生が学習する3編の物語・小説学習材の中のひとつであるが、1学期に学習した「竜」は物語学習の入門的な意味合いが強く、登場人物同士のからみや主人公の心の葛藤が描かれた文学作品としては本教材が最初の作品として位置づけられる。サーカス団の花形である主人公のキキは四回宙返りを成功させたいという一念で行動し、全てを失ってしまう。その生き方は読み手の心に波紋を投げかける。人として命を尊ぶことは大切なことであるが、命を燃えつきさせるような激しい感情もまた美しいものだからである。また、登場人物の相反する考え方を通して様々な人生観も描かれており、中学生という自分のアイデンティティを意識し始めると同時に自分の生き方に目を向け始めるこの時期の教材としてふさわしいと考える。その上で文章を正確に読み取るだけでなく、物語を通して人生観に対する「自分の思い」や「自分の意見」をもつことは本校研究の「読解力」の向上にもつながり、意義あることと考える。

- 溢れる情報の中で価値観が多様化した現代社会では既存の常識や美意識が薄れ、私たちはともすれば自分自身を見失いがちである。こういう時代だからこそ自分らしく生きるということはどういうことなのか、自分自身に問いかけながら確固たる信念を見いだすことが必要なのではないか。自分のこれまでの生活をふり返るとともに、自分自身の人生をより良く生きるためにこれからどうしていくのかということはこの作品を通して生徒一人ひとりが考えるきっかけとしたい。本作品の中でも主人公キキの情熱的な生き方は多くの示唆を含んでいる。そこで、キキの内面に目を向けさせることを中心に、多様な価値観について自分なりの考えをもたせることで読みの幅を広げ、3学期に学習する本格的な小説「トロッコ」での、漠然とした主人公の心の闇や不安といった抽象概念の読みへとつなげたい。

本教材を指導するにあたり、キキの生き方や価値観を中心に読み取ることによってキキへの理解を深め、そのうえで様々な人生観に目を向けさせたいと考え授業を組み立てた。

まず、物語の構成の確認と場面分けをし、中心人物のおおまかな人物像を文章表現からおさえる。次に主人公の気持ちが大きく変わるところに着目し、その前後での気持ちの変容を読み取らせる。特に四回転することを決意するまでの心情は手がかりとなる描写が幾つもあるので小集団を取り入れしっかりと読み取らせたい。また、四回転をしているところの比喩表現は、最後の大きな鳥の伏線にもなっており、それぞれがどんな意味をもっているのか考えさせた上で大きな白い鳥が「悲しそうに」飛んでいったわけを考えさせ、キキの心情に迫らせる。最後に人間の普遍的な感情について考えさせるとともに、キキの生き方と自分自身の生き方を比べることで自分の考えを深めさせたい。

### 3 目 標

- (1) 進んで読書に親しみ、様々なジャンルの書物に関心をもとうとする。
- (2) 書かれている文章や表現から作者の思いや意図を正確に読み取り、主題から自分の考えにつなぐことができる。
- (3) 作品の主題について自分の考えをもち、立場を明確にして自分のことばで書くことができる。
- (4) 新出漢字の読みや難解語句の意味、短文作りに積極的に取り組み正確に理解し活用することができる。

4 指導計画 ( 6時間 )

配時	学習活動・内容	評価の観点	指導の手だて
1	<p>1 本文を通読し，初発の感想を書き，あらすじと人物像を大まかにつかむ。</p> <p>2 漢字の読みと難意語句の意味調べをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話の内容を把握し疑問や感想など書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>初発の感想は疑問に思ったことなど自由に書かせ学習の意欲づけにする。</li> </ul>
3	<p>3 文章の全体の構成をつかみ，中心人物の人物像を表現にそって読み取る。</p> <p>①物語の時・場所・主人公の人物像をつかむ。</p> <p>②主人公と他の登場人物との関係を読み取る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>場面と場面のつながりを理解することができる。</li> <li>主な人物の役割について理解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>導入から展開，終結までの流れをおさえる。</li> <li>主人公の性格や，サーカス団の中でのポジションについておさえる。</li> <li>キキ以外の人物がどんな役割を担っているのかについて読み取らせる。</li> </ul>
本時 3 / 3	<p>③キキが四回宙返りに挑む気持ちを表現から読み取る。</p> <p>④キキの思いを生き方から理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人物像の理解につながる表現を抜き出すことができる。</li> <li>集めた情報から自分の考えをまとめることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気持ちがわかる表現を抜き出させ，そこから考えられることをまとめさせる。</li> <li>キキの生き方について自分の意見をもてるように考える視点を示す。</li> </ul>
	<p>4 キキとロロの考え方や生き方について読み取ったことと，自分自身の生き方を比べながら自分の考えをまとめて文章にする。</p> <p>5 主題をつかむ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの生き方の違いについて理解し，自分の考えをまとめることができる。</li> <li>それぞれの人物が象徴している人間像について理解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どちらが良いとか悪いかということではなく，それぞれの生き方に共鳴できる点や自分自身に置きかえて学んだ点について考えをまとめさせる。</li> <li>登場人物の気持ちは，我々誰もが持ち得る感情であり，どれを最優先させるかがその人の生き方に表れるということをおさえる。</li> </ul>

## 5 本 時

平成20年10月 ( )

## 6 本時の指導観

前時までに生徒はキキの大まかな人となりや、サーカス団でのポジションについて読み取りをしており、どんな思いで毎日を過ごしているのかということを確認している。また、キキが四回転をやらざる終えなくなっただけで、周りの人物の役割についても理解している。

そこで、本時はキキの生き方に焦点を絞り、命と引き替えにやり遂げたことへの思いをしっかりと読み取らせたい。授業の雰囲気づくりのために導入でサーカスのビデオやガラスの小瓶を見せ、作品の舞台のイメージをもたせる。本時のめあてであるキキの生き方を考えさせる手順として、まず死を覚悟してまで四回転に挑戦した理由を表現に着目しながら個人で考えさせる。手だてとしてはロロやおばあさんとの会話の中のことばや、四回転する時のキキの気持ちに着目させ学習プリントに記入させる。その後小グループで意見の交流をして出た意見をボードに書くことで考えを確かなものにする。さらに、単に「人気落ちるのが嫌だから」という読みで終わらせないために発問を投げかけ記録を塗り替え続ける過酷な選択が人々に夢を与える生き方につながることに気づかせたい。それを裏付ける表現として港町の人々の描写にも目を向けさせ、キキの生き方の根底にあるものを理解させる。最後に「悲しそうに」鳴いた理由を考えさせ、めあてに対する考えをまとめさせる。その際、四回転をしたことの“後悔”にとどまらないよう留意し考えを深めさせたい。

< 3つの対話づくりの手だて >

- 対象との対話…人物の気持ちが分かる表現を抜き出させ、そこからどんなことが分かるか考えさせる。
- 他者との対話…交流した意見をボード等へ書き照らし合わせることで自分の考えを深める。
- 自己との対話…自分の読み取った人物像とグループの中で交流した内容を考え合わせ、めあてに対する自分の考えを書かせる。

## 7 本時の主眼

- 文章からキキの気持ちや生き方が分かる表現を抜き出すことができる。
- 主人公が何としてでも四回転をやり遂げたかった理由について自分の考えを深め、キキの生き方を理解することができる。

## 8 準 備

- (1) 書き込み用学習プリント (2) ワーク (3) サーカスのビデオ
- (4) ガラスの小瓶 (5) ホワイトボード6枚

9 展 開

段階	学習活動・内容	形態	指導上の留意点	配時
理 解	1 前時の学習内容を想起し、本時のめあてを確認する。  【めあて】	一 斉	・サーカスのビデオを見せ、キキのいる世界をイメージさせる。 ・青い水の入った小瓶を見せ、キキの思いを確認する。	5
	キキはどんな生き方を望んだのだろうか。四回宙返りに挑んだ理由から考えよう。			
熟 考	2 なぜキキは四回転に挑んだのか、理由が分かる表現を抜き出し、そこから考えられる理由を書く。 ・グループ内で意見を出し合う。 ・ボードに書き出し発表する。 <b>(予想される反応)</b> ・人気落ちるのが嫌だから ・最高の拍手が欲しかったから ・ピピが三回転をやったので、もう自分は四回転をするしかないと思ったから	個 / 小 集 団	・理由が分かる表現に線を引かせ、自分の考えをまとめさせる。 ・表現に基づいて自分の考えをグループで交流させる。 生徒が理由に挙げる表現 「人気落ちる・・・」 「拍手がもらえない・・・」 「おまえさんの人気も今夜限りさ・・・」 「見ててください・・・」等	15
	3 キキの生き方について考える。根拠となる表現を抜き出し、そこから考えたことを出し合う。 ・グループ内で意見を出し合う。 ・ボードに書き出し発表する。 <b>(予想される反応)</b> ・人気者でいつづけることに全てをかける生き方 ・人の忠告など聞かないで意地をはる生き方 ・自分の信念を貫き通す生き方 ・自分の能力を超えたいという一途な生き方 ・お客に感動を与え続ける生き方	一 斉	・四回転する時のキキの気持ちにも着目させる。 ・班で出した意見をもとに発表させる。 ・意見がたくさんあるときは、ボードの裏にも書くように指示する。 ・なぜ四回転にこだわるのか、その理由も含めて考えさせる。 ・キキの気持ちが分かる表現を探させる。	15
	4 「悲しそうに」鳴いた理由も合わせてめあてに対する自分の考えを文章にする。 ・友だちの意見を聞く。	個  一 斉	・出ないときはおばあさんのことばや四回転を見たときの港町の人々の描写にも着目させる。 ・世界でただ一人できるということが見る人の感動をより強めることをおさえキキの生き方につなぐ。 ・何を悲しく思ったのか考えさせる。 ・前時までに読み取った人物像と比べて自分の考えがどう変容したか確認する。	10
表 現	5 本時のふり返しをする。	個	・数名に発表させる。	5